

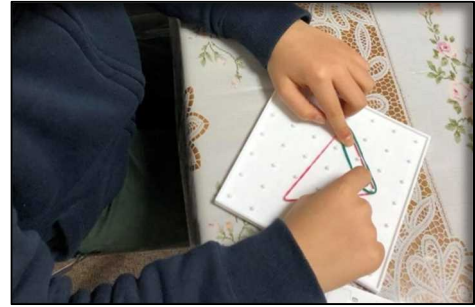
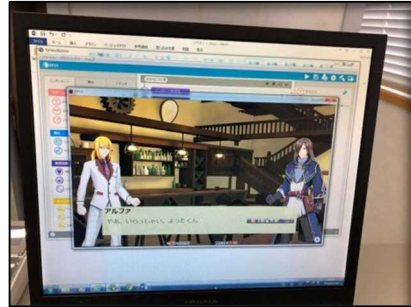
【家庭教育支援チーム】

チーム名	一般社団法人家庭教育研究センターFACE(ふあす)
活動開始年度	2005年4月
活動拠点	・ラボラトリー / 鈴鹿市下箕田2-24-24 ・事務所・ラーニングルーム / 鈴鹿市東旭が丘3-5-3メロディーハイツ102
活動範囲	鈴鹿市内全域・津市内全域
活動財源	<input type="checkbox"/> 文部科学省補助事業(地域における家庭教育支援総合推進事業) <input type="checkbox"/> 文部科学省委託事業(先駆的家庭教育支援推進事業) <input type="checkbox"/> 厚生労働省事業(事業名) <input type="checkbox"/> 地方単独事業として実施 <input type="checkbox"/> 特段の予算措置はないが、自主的に活動を実施 <input checked="" type="checkbox"/> その他の支援により活動を実施 (津市教育委員会、こども夢基金、鈴鹿市まちづくり応援補助金 など)
組織体制	<u>13</u> 人 代表理事 1名、理事 5名、ボランティアスタッフ 8名
具体的な活動内容	<input checked="" type="checkbox"/> 講座型 <input checked="" type="checkbox"/> 拠点型 <input type="checkbox"/> 訪問型 <input type="checkbox"/> 総合型 <input type="checkbox"/> その他() 1. アセスメント事業 <u>子どもの気がかりについて、家族の話を整理して相談への道案内をするコンシェルジュの役割に始まり、保護者・家族に対し、子どもの発達に関して医療機関で受けた検査結果を分かりやすく解説したり、具体的な方法を家庭向けに提案など行っている。</u> * 発達検査チーム FIST 発達検査や心理検査を行うチーム。 通常は市町の教育や福祉の機関と協働して検査の仕事を行う。臨床発達心理の専門性を生かした「読み書きの課題」を抱える子どものための検査ツールおよび療育プログラムを制作し、実践している。また外国につながる児童生徒の検査を、通訳を介して行い、市町教育委員会学校の支援計画への連携ができる点も特徴である。
	 

2. 療育事業

保護者を含めた大人の発達障害で悩む方もカウンセリングから始め、必要に応じて家族と共に、医療や福祉機関の橋渡しをして社会活動ができるような提案している。

* FIST での見立てを元に療育をするラーニンググループ。発達の偏りを分析して的確な療育を計画し、意欲を促す子ども向け専門療育「勇者の儀式」プログラムを実践している。

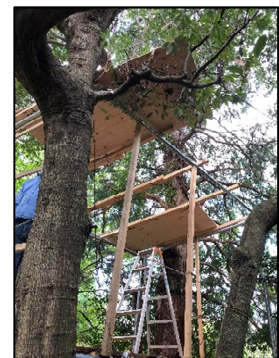


3. フィールドワーク事業

■冒険クラブネモクラブ

家族が話題を共有し、関係性を改善できる場所として、また発達心理面からは身体の不器用さを、遊びを通して改善する感覚統合・行動療法的活動として、親子で参加する野外活動を主宰している。

「遊ぶ時は命がけ」がモットー。森林セラピーだけではなく、生きる力や自然科学への関心が高まる内容。平成 30 年度はツリーハウスを建設した。



■若者の居場所ふにゃ(FNYA)

学齢期を過ぎて学業や就労が安定しない若者のために居場所を作った。家族を含めた相談から始め、認知行動療法を取り入れた「セルフカウンセリング講座」を受講し、インターンシップ活動に参加するステップによって社会参加を促進している。療育事業の教材をパソコンを使って制作するチームを形成して活動することが、社会貢献の自信となる。ネモクラブで育った青年らがピアサポートを行っている。必要に応じて医療機関との専門家連携や、就労に至る福祉事業者との橋渡しが行える活動が特徴である。

平成 30 年度には「護身術」「ダンス」「危機管理」などの体験講座を開催した。



4. カンファレンス事業

■ 気がかりアカデミー

保護者や支援者を対象とし、人が生涯をかけて発達していく途中で起きる課題や悩みを、分かりやすく解説して健やかな親子関係が築けることを目的とした講座。


「子どもの気がかりアカデミー」参加者には座談会形式でのフォローアップを無料で行っている。

平成30年度には「どこへどう相談？」と題して、発達障がいガイダンス的な講演を行った。専門講師を招いて「アンガーマネジメント講座」を主催した。

他に三重県教育委員会主催通級指導教室教員対象「LD の特性に応じた教科指導①国語②算数」の講師を務めた。鈴鹿市療育センター主催指導員保育者のための「子どもの発達について」講演を行った。また民間団体向けには、子育て応援パートナーズ主催「発達障がいと行政」、鈴鹿ベイロータリークラブ「今改めて発達障がいとは」と題して講演を行った。

一般保護者向けだけでなく、対象に応じて講演内容を組み立てる。内容は一貫して発達を縦軸に社会や家族を横軸にしたスタンダードを築くことを目標としている。社会に関係性発達のスタンダードを広く伝えることが目的である。



	<p>5. ワークショップ</p> <p>■F-SEMMI</p> <p>家庭で過ごす子どもと大人の関係性そのものが学びの対象。発達心理・人間関係・自己分析・臨床心理・精神医学等、心理学の基礎知識を生活に照らし合わせて学ぶ勉強会。支援者を養成するための専門学習をワークショップで行っている。</p> 
<p>活動の成果</p>	<p>相談や活動を通しての様々な取り組みの中、<u>研修の参加者感想の一例</u>をあげる。</p> <p>「これから出会う素敵な自分」というテーマでした。カウンセリングに必要な基礎を学び、マズローの自己実現ピラミッドでは、『なぜそうなるのか』ということに気付いたり、境界性パーソナリティについて。そして窓！←今回はここ！！</p> <p>帰宅後の感想には、自分自身について隠さず書かれているところもチラホラ。</p> <p>「私も、それが言いたかったの！」そんな仲間のモヤモヤも、形は違えど、痛みも分かります。そして、この気持ちを大切に思う。『自分を知る！』『相手を知る！』『相手に自分を知ってもらおう！』メンバーから「社会的にも誰かの役に立つ時が来る！」そんな言葉も。</p> <p>家族や親戚の集まりの時、今までいなかった自分が現れてアドバイスしてくれるんじゃない？？きっとそうなる！」</p> <p>しっかりと理論のもとに構成された家族関係性発達の相談や研修の機会はまだ少ない。経験則に基づく著名人の体験的講演とは異なり、理論と実践から体系的に解説することで、日常生活の中の人との関わり方を見直し、新たに試みるというダイナミックなワークショップと講演を繰り返し開催することによって、<u>安定した家族関係が築かれ、その体験者が更に研修を深めて、支援者として活動する正のスパイラルを作る社会教育のモデルを提案できた。</u>また学校と家庭と社会の狭間に取りこぼされがちなマイノリティの相談を研修につなげてエンパワーメントすることや、制度の中に組み入れていく直接支援を行うことで、確実な社会参加ができる人材を増やすことができた。</p>
<p>活動において苦勞した点や課題</p>	<p><u>一般的な保護者が専門機関を訪れ相談に通うという習慣は県内では少なく、公益民間団体であることを周知広報していくことが重要である。安心して相談できる場所として、社会的な信頼を獲得するために公的機関との連携を深め、活動を活発に行いたい。</u></p> <p>一方で性質上厳密な守秘義務を負うために、インターネットセキュリティを万全にし、電子データおよび紙版においても漏洩がないように、神経を使う。現在は代表者自宅をラボラトリーとして相談や打ち合わせはシェアルームを使用しているが、固定した事務所と相談室を確保するための努力をしている。残念ながら 30 年度は大型の補助金の選定に漏れたので、実現できていない。</p>

	<p>専用の家屋と機密を担保した相談室・検査室、安全を確保されたコンピュータネットワークシステム、電話や専用自動車などが整備できるように尽力したい。</p>
<p>今後の活動目標</p>	<p><u>民間機関ならではの柔軟さを生かして相談室を居心地よい雰囲気にしつらえることを工夫したい。また親子や若者が家を出て、気楽に過ごせるような居間のスペースを作ることも計画している。家と学校以外の第三の居場所として、「ふあす」が空間と時間を提供する。役所の窓口とは異なる親子で訪れることができる「部屋」として機能しつつ、心理支援の専門的な機能をしっかりと保つことが最も重要である。</u></p> <p>一方、安全と守秘義務を確実にできる活動拠点を作り、検査や相談が受けられ、関係機関とも連携が取れる民間団体としてハード、インフラ整備を急ぐとともに、講演・支援の活動を充実させる。「子どもの気がかりアカデミー」においては発達障がいのみではなく、思春期の心身発達や親子関係の発達性など、発達心理学を元にした家庭教育講座を開催する年間計画を立てている。また発達検査など専門技能者を輩出するためのワークショップを継続開催する。</p>
<p>問合せ先</p>	<p>(団体名) 一般社団法人家庭教育研究センターFACE (住所) 〒513-0052 三重県鈴鹿市下箕田2丁目24-24 (TEL)090-1476-6135 (E-mail) facemail@faceofficial.com</p>